

令和 5年11月 1日	
資料提供	
担当課(室)	かつらぎ町 危機管理課
担当者	防災係 宮本 昌弥
電話(代表)	0736-22-0300 (内線 2022)



行政と避難者との体験会 (橋本・伊都聴覚障害者防災対策推進委員会)

聴覚障害者団体である橋本・伊都聴覚障害者防災対策推進委員会と、橋本伊都管内1市3町の防災・福祉担当者合同で避難所体験会を開催します。

災害発生時の避難所において、障害者と行政がお互いにどのような対応をする必要があるのか、どのような課題があるのかを見つけるため、受付体験や避難所用品の見学を通じて意見交換を行います。

※「橋本・伊都聴覚障害者防災対策推進委員会」は、橋本・伊都聴覚障害者協会及び橋本市、かつらぎ町、九度山町の手話サークルで構成されています。

1. 日 時 : 令和5年11月26日(日) 午前9時から午後3時
2. 場 所 : 妙寺防災コミュニティセンター(妙寺公民館) 第2研修室
(住所) 和歌山県伊都郡かつらぎ町大字妙寺 445 番地の1
(電話) 0736-22-0300 (役場代表) 0736-22-6668 (妙寺公民館)
3. 参加者 : 橋本・伊都聴覚障害者防災対策推進委員会
橋本市・かつらぎ町・九度山町・高野町
4. 内 容 : ①避難所受付体験
災害発生時、避難所での受付を実際に体験し、お互いに困難と感じた点を共有し、課題を確認します。
②災害用備蓄物資説明・ワークショップ
各市町で整備している避難所用備蓄物資について、行政から説明を行います。あわせて、物資の設営体験を行い、意見交換を行います。
また、各グループで出た感想等を発表し、情報共有を行います。
③防災ボランティア派遣体験談
6/2の水害時に設置した、かつらぎ町ボランティアセンターでのボランティア派遣について、かつらぎ町社会福祉協議会から体験談を語っていただきます。



見どころ・ポイント

聴覚障害者団体との合同の体験会、また、管内1市3町の防災担当が一堂に会しての防災啓発というのは初めての内容となります。

様々な課題を抽出し、共有することで、団体、行政お互いに災害への備えを強化し、不安の解消に結び付けることを目的としています。

行政と避難者との 体験会

主催：橋本・伊都聴覚障害者防災対策推進委員会

防災を学ぶ みんなで繋げよう

開催日：2023年11月26日（日）9時30分～15時

（受付：9時30分～10時00分）

場所：妙寺防災コミュニティセンター

（伊都郡かつらぎ町妙寺445番地の1）

持ち物：飲み物、不織布マスク（自由）、バンダナ

参加費：300円（カップヌードル）★非常食と飲み物は行政が分配します。

プログラム

司会／橋本・伊都聴覚障害者協会 恩地彰子

- 1) 9:30～10:00 受付／ニーズ（行政関係者）
- 2) 10:00～10:05 開会あいさつ 橋本・伊都聴覚障害者協会 会長宮本弘美
- 3) 10:05～12:00 行政からの災害用の備蓄物資の説明とワークショップ
ワークショップの内容について
1. 住所地の災害用備蓄品の説明と設置体験 30～40分
2. 隣接市町の災害用備蓄品見学 20分
3. 休憩 5分
4. 受付体験などについて意見交換 45分
- 4) 12:00～13:30 非常食の体験・片付け
- 5) 13:30～14:00 各グループ発表・質疑応答
- 6) 14:00～14:30 防災ボランティア派遣体験談（かつらぎ町）
- 7) 14:30～15:00 閉会あいさつ 恩地彰子 （写真撮影／解散）

▶ 駐車スペースに限りがあるため、乗り合わせてお越しください。

▶ 会場内へは土足で上がってください。

▶ 記録や広報のため写真撮影を行います。不都合のある方は事務局までお伝えください。

☆問い合わせ先

橋本・伊都聴覚障害者防災対策推進委員会 副委員・事務局長 恩地彰子

FAX 43-0135 e-mail kamma.k.a.m.ma.b.a.b@gmail.com